

# お知らせ 市の財政状況

◎財政課 ☎36・7123

市では、毎年6月と12月の年2回「市の財政状況」を公表しています。今回は、令和元年度の決算と令和2年度上半期(4～9月)の予算執行状況についてお知らせします。



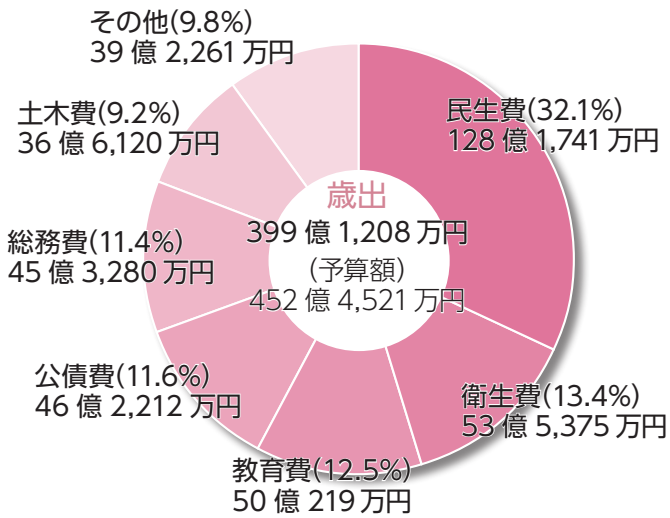
## 1 令和元年度決算状況

### 一般会計決算

市の一般会計の歳出総額は399億1,208万円、平成30年度に比べ37億7,185万円、率にして10.4%の増額となりました。

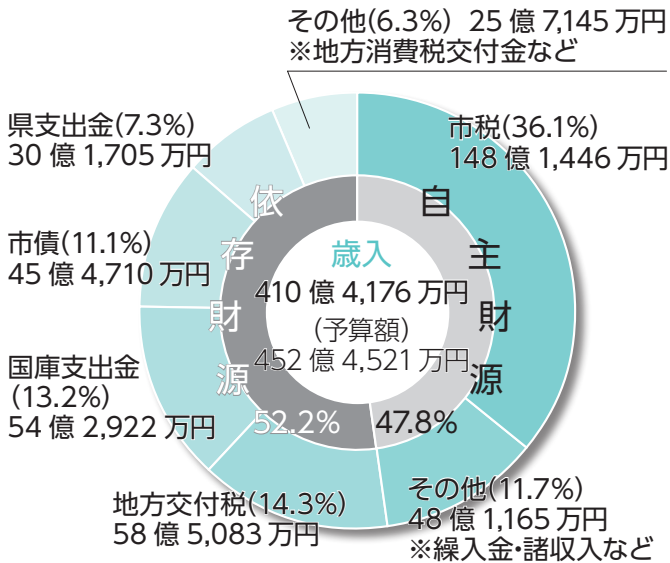
歳入総額は410億4,176万円、平成30年度に比べ33億7,154万円、率にして9.0%の増額となりました。

### 歳出の内訳(構成比%)



※数値は、端数処理で調整してあります。

### 歳入の内訳(構成比%)



※数値は、端数処理で調整してあります。

### 健全化判断比率

全ての会計が黒字となり、実質公債費比率は数値が改善し、将来負担比率は算出されませんでした。

- ① 実質赤字比率 / 赤字なし
- ② 連結実質赤字比率 / 赤字なし
- ③ 実質公債費比率(表1) / 普通会計の借入返済額の割合(家計に例える)
- ④ 将来負担比率(表2) / 普通会計が将来にわたり負担する実質的な負債残高の割合(家計に例えると、今後のローン返済総額が、年収の何倍になるかを示す)を判断します。

### 資金不足比率

公営企業経営における料金収入(事業規模)に対する資金不足額(赤字額)の比率を表したもので、全ての会計において赤字はありません。

### 経常収支比率(表3)

財政構造の弾力性を示すもので、歳出に占める経常経費(人件費など)が欠かせない経費)の割合を示します。

### 財政力指数(表4)

地方公共団体の財政基盤の強さを示す「財政力指数」は、数値が高いほど財政力が強いことを表します。

## 市の財政状況

会計	令和元年度末	平成 30 年度末
一般会計	379 億 9,014 万円	378 億 1,636 万円
特別会計	46 億 5,382 万円	42 億 1,087 万円
企業会計	64 億 4,214 万円	48 億 4,014 万円
合計	490 億 8,610 万円	468 億 6,737 万円
市民 1人当たり	50 万 669 円 (9 万 8,041 人)	47 万 5,589 円 (9 万 8,546 人)

※道路整備などのために、国などから長期にわたって借りのお金（市債）。市民 1 人当たりの金額は、各年度の 3 月 31 日現在の人口から算出。

基金名	令和元年度末	平成 30 年度末
財政調整	58 億 1,401 万円	63 億 1,326 万円
学校 施設整備	8 億 6,915 万円	7 億 9,902 万円
新病院 建設	9 億 2,829 万円	9 億 2,344 万円
その他	60 億 3,703 万円	58 億 7,180 万円
合計	136 億 4,848 万円	139 億 752 万円
市民 1人当たり	13 万 9,212 円 (9 万 8,041 人)	14 万 1,127 円 (9 万 8,546 人)

※目的別に貯めているお金（基金）。市民 1 人当たりの金額は、各年度の 3 月 31 日現在の人口から算出。現在は 19 基金。

## 借りにいるお金

## 貯めているお金

### ■ 実質公債費比率(表 1)

項目/年度	H30	R1
島田市の状況	7.2%	7.0%
県内市の平均	6.3%	5.9%
早期健全化基準	25.0%	25.0%
財政再生基準	35.0%	35.0%

### ■ 将来負担比率(表 2)

項目/年度	H30	R1
島田市の状況	—	—
県内市の平均	13.8%	16.1%
早期健全化基準	350.0%	350.0%

### ■ 経常収支比率(表 3)

区分/年度	H30	R1
島田市の状況	91.1%	92.2%
県内市の平均	87.4%	88.8%

※経常収支比率が高くなりすぎると、投資的事業（道路や学校の建設など）に対する予算が不足してしまいます。

### ■ 財政力指数 単年(表 4)

区分/年度	H30	R1
島田市の状況	0.75	0.73
県内市の平均	0.89	0.88

※標準的に必要とされる予算規模のうち、自主財源でまかなわれる割合を示します。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	99 億 6,149 万円	93 億 1,812 万円
簡易水道事業	6 億 610 万円	6 億 341 万円
土地取得事業	7 億 3,944 万円	7 億 3,944 万円
休日急患診療事業	3,324 万円	1,945 万円
公共下水道事業	13 億 2,351 万円	12 億 9,990 万円
介護保険事業	84 億 5,215 万円	82 億 6,959 万円
介護サービス事業	7,222 万円	6,441 万円
後期高齢者医療事業	12 億 3,584 万円	12 億 3,325 万円

会計名	区分	収入	支出
水道事業	収益的	12 億 500 万円	10 億 34 万円
	資本的	4 億 546 万円	7 億 1,904 万円
	合計	16 億 1,046 万円	17 億 1,938 万円
病院事業	収益的	118 億 265 万円	129 億 6,196 万円
	資本的	27 億 335 万円	30 億 768 万円
	合計	145 億 600 万円	159 億 6,964 万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんします。

## 特別会計決算

国民健康保険事業や公共下水道事業などの 8 事業は、一般会計と経理を区分して、事業の収支を明確にするために、それぞれ個別に特別会計を設けています。

各特別会計は、保険税や保険料、下水道使用料や国県支出金などにより運営しています。令和元年度の決算額は、左の表のとおりです。

## 企業会計決算

公営企業は、利用者からの料金により、公共の福祉の増進を目的に経営する事業で、水道・病院事業を公営企業会計により運営しています。

各事業の運営費を「収益的支出」、それに充てる料金収入などを「収益的収入」といい、事業に必要な施設・設備の整備費を「資本的支出」、企業債などその財源を「資本的収入」といいます。

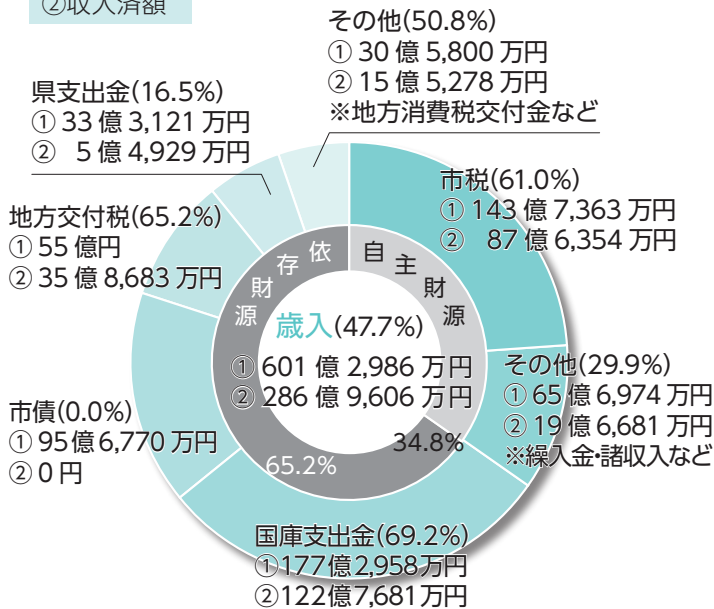
## 2 令和2年度 上半期執行状況(令和2年9月30日現在)

### 一般会計執行状況 予算額 601億2,986万円

費目(執行率)

- ① 予算額
- ② 収入済額

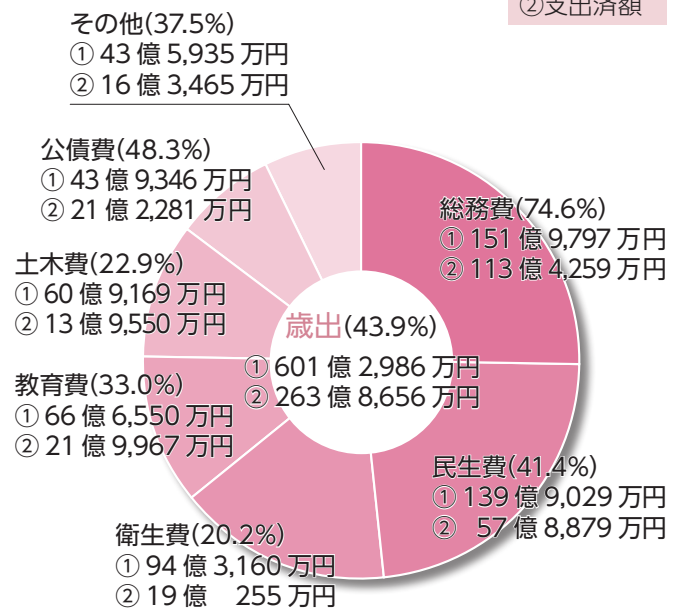
#### 【歳入の内訳】



#### 【歳出の内訳】

費目(執行率)

- ① 予算額
- ② 支出済額



### 特別会計執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	95億5,075万円	40億2,423万円	34億8,150万円
土地取得事業	7億5,967万円	7億5,967万円	0万円
休日急患診療事業	6,384万円	1,480万円	829万円
介護保険事業	89億8,218万円	41億3,175万円	34億8,104万円
介護サービス事業	7,036万円	3,503万円	3,809万円
後期高齢者医療事業	12億8,763万円	4億3,350万円	2億8,655万円

### 企業会計執行状況

会計名	区分	収入		支出	
		予算額	収入済額	予算額	支出済額
水道事業	収益的	13億8,167万円	7億3,416万円	13億9,931万円	4億6,085万円
	資本的	6億9,920万円	514万円	11億8,284万円	9,255万円
	合計	20億8,087万円	7億3,930万円	25億8,215万円	5億5,340万円
病院事業	収益的	133億1,820万円	59億5,193万円	146億1,633万円	52億3,852万円
	資本的	130億1,969万円	1億686万円	166億3,094万円	4億1,715万円
	合計	263億3,789万円	60億5,879万円	312億4,727万円	56億5,567万円
公共下水道事業	収益的	7億949万円	4億8,347万円	7億339万円	3億1,074万円
	資本的	4億8,425万円	9,473万円	7億227万円	2億869万円
	合計	11億9,374万円	5億7,820万円	14億566万円	5億1,943万円